

# 会 議 録

会議名 (審議会等名)	第5期第4回相模原市中央区区民会議			
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802(直通)			
開催日時	平成30年12月20日(木) 14時00分～16時10分			
開催場所	相模原市立産業会館4階特別会議室			
出席者	委員	25人(別紙のとおり)		
	その他	1人(企画政策課1名)		
	事務局	15人(中央区長、中央区副区長、他13人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p style="text-align: center;">議 題</p> <p style="text-align: center;">(1)「区の目指す姿」の骨子案について【資料1、2、3】</p> <p style="text-align: center;">(2)その他</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>			

主な内容は次のとおり。

( 会長の発言 委員の発言 事務局の発言 )

## 開 会

区民会議規則第3条第3項の規定により、飯島会長が議事を進行した。

会議の成立要件を満たしている旨の報告、傍聴希望者の報告を行い、傍聴を許可した。

傍聴希望者 1名

## 議 題

(1) 「区の目指す姿」の骨子案について【資料1、2、3】

【資料1、2、3】により、事務局から説明を行った。委員からの意見は、次のとおり。

(主な意見等)

### 【基本目標 (活力・交流)】

○資料3の中で、「農業用地の有効活用」とあるが、中央区内の農家で、出荷しているところは少ないため、農地としての有効活用というよりは、用途地域の見直しといった視点での検討が必要なのではないか。

新たに制度を設けることや地域振興の事業を取り組んでいく上では、地域や企業、行政などが連携した検討組織による協議が必要となってくる。そういった体制を整備していくことや取組を進めていくための規制の緩和などの文言を区別基本計画の中に入れていくことを検討していただきたい。

○国際化の分野で、「グローバルなまちづくり」とあるが、中央区は、国内の様々な地域出身の人が多いイメージがあるため、国内外問わず、様々な文化との交流の活性化として、「多様な文化との交流」や「共生」といった文言に修正してみてもどうか。

グローバルという言葉だと、国際化のイメージが強いため、国内も含めた様々な文化の交流ということで、「多様な文化との交流」とした表現への修正を検討いただきたい。

### 【基本目標 (環境)】

○「再生可能エネルギーを生かしたまちづくり」といった文言があるが、中央区では、再生可能エネルギーを生かすレベルにまでは達していないことから、「再生可能エネルギーを導入する」などの表現に留めておいた方がよいのではないかと。

○廃棄物の分野におけるごみ出しマナーについては、ごみの分別方法の周知の徹底も重要であるが、最終的な方策としては、ごみを出さない社会づくりが求められると思う。その実現のためにも、4Rの徹底や資源を大切にされた暮らしなどの高い目標を掲げていくべきではないか。

○都市緑化の分野において、公園については、自然保護も大切であるが、住民の憩いの場や健康促進の場などの役割も果たしていることから、「快適で心身ともに豊かな自然づくり」といった文言がよいのではないか。

○生物多様性を保全するための取組として、温暖化防止や資源の保全などがあるため、生物多様性の位置づけを上位に持っていくのも一つの方法ではないか。

また、「自然に豊かなまちづくり」とあるが、見た目だけの自然の豊かさを求めるのではなく、生態系が正常に循環している自然環境による生物多様性の実現が必要であるため、「生物多様性が叶うまちづくり」などの文言がよいのではないか。

○廃棄物については、「市民一人ひとりがごみ出しマナーを守り」とあるが、主な消費者である市民の取組も重要であるが、多くのごみを排出している事業者の視点が欠けているように感じる。マイバックの推進によるビニール袋の削減などの取組を推進するためにも、企業や商店側の意見も汲んだ上で、「4R」といった言葉を入れていただきたい。

生物多様性については、「豊かな生物多様性のまちづくり」といった文言とし、具体的な方策として、温暖化防止、環境教育、廃棄物について、取り組んでいくという意味合いにしていく方向で事務局の方で検討していただきたい。また、4Rの言葉についても、全体の文言のバランスを踏まえて、盛り込んでいくかを検討していただきたい。

○環境保全の分野で、「緑と都市が共生したまちづくり」という文言があるが、中央区は、相模川や境川などがあることから、水辺環境の保全という視点も入れるべきではないか。

中央区全体としては緑が豊かである印象があるが、元々工業地帯であった一部の地域では、道路に街路樹が配置されていない実態もある。都市化が進んでいく中で、緑と都市の共生を訴え続けていくことも重要であるが、水辺環境の保全という視点も踏まえて、事務局の方で文言を検討していただきたい。

### 【基本目標（都市経営）】

○「区民と行政の協働によるまちづくり」という記載があるが、現行の区ビジョンや、今回新たに策定する区別基本計画については、担当課の職員だけでなく、市役所全体での情報共有を徹底してもらいたい。

今回の区別基本計画の策定については、市の次期総合計画と一体で進めているため、掲載内

容について、庁内調整、策定後の情報共有、進捗管理をしっかりと行っていきたいと考えている。

○担い手の育成の一環として、青山学院大学が、地域活動などについて学ぶ、「コミュニティ人間科学部」を2019年から開設予定であるため、そういった学部の学生と地域とが連携できるような体制づくりが重要となってくる。また、複数の大学が立地しているという中央区の特色を生かし、学生を地域に取り込んでいく取組が必要であり、区別基本計画の中にも、「大学」という言葉を入れていただきたい。

既存の一部の学部でも、学生による市政の講演を行ったり、講義の一環として、学生と行政が協働で事業を企画したりと、大学と行政との連携を行っているが、今回の新学部の開設を起点に、大学と地域の連携を強化していくためにも、「大学との連携」というような表現を入れることを検討いただきたい。

## (2) その他

事務局から、11月18日(日)に開催された、「中央区ぶらさんぽ」について、当日の様子について、報告が行われた。

## 閉 会

竹田副会長あいさつの後、閉会。

第5期第4回相模原市中央区区民会議 委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	飯島 泰裕	学識経験者（青山学院大学）	会長	出席
2	石井 今朝太	小山地区まちづくり会議		出席
3	石井 トシ子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		出席
4	井上 政市	相模原交通安全協会		出席
5	牛尾 良一	中央地区まちづくり会議		出席
6	浦上 裕史	一般社団法人相模原市観光協会		出席
7	大木 美沙瑛	公募委員		出席
8	大谷 政道	相模原市公民館連絡協議会		出席
9	川道 英弘	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
10	河本 博	大野北地区まちづくり会議		出席
11	神田 隆吾	公益社団法人相模原青年会議所		出席
12	木内 哲也	一般社団法人相模原市医師会		出席
13	小林 充明	上溝地区まちづくり会議		出席
14	斎藤 奈美	特定非営利活動法人さがみはら環境活動ネットワーク会議		出席
15	坂本 洋三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
16	佐藤 悠貴	公募委員		出席
17	清水 洋子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
18	志村 勝美	田名地区まちづくり会議		出席
19	末永 暁子	横山地区まちづくり会議		出席
20	竹田 幹夫	星が丘地区まちづくり会議	副会長	出席
21	田代 明寛	清新地区まちづくり会議		出席
22	永野 堅次	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
23	中村 太郎	相模原商工会議所		出席
24	馬場 裕美	公募委員		出席
25	割柏 秀規	光が丘地区まちづくり会議		出席